

令和4年度

学校法人高水学園
事業報告書

学校法人 高水学園
岩国市尾津町二丁目24-18

1 法人の概要

(1) 建学の精神

学校法人高水学園は、明治初年、熊毛郡高水村(現周南市)に開設された磨鍼塾を源流とする。村塾以来一貫した建学の精神は、「徳性の陶冶」と「楽学」の実践にあり、勤労を尊び生活は質素であるべきことを教育の指導理念としてきた。今後もこの建学の精神を継承していく、さらに広い世界観に立つ教育を実践していく。

(2) 法人の概要

明治	31年 4月	山口県高水村新町に就業年限2ヶ年の高水村塾を創設
	32年 11月	私立学校令発布により塾則を制定
大正	9年 7月	修業年限5ヶ年に延長し高水中学と改称
	12年 3月	財団法人山口県高水中学校に移行
昭和	23年 4月	学制改革により山口県高水高等学校に移行、併設中学校は付属中学校と改称
	26年 3月	学校法人山口県高水高等学校設立
	27年 4月	全日制商業科設置
	29年 4月	岩国市に学校移転
	34年 4月	校名を高水高等学校・同付属中学校と改称
	35年 4月	高水高等学校家政科を設置
	46年 4月	法人名を高水学園と改称、岩国短期大学(幼児教育科、英語科)を設立
	51年 3月	高水高等学校家政科を廃止
	56年 11月	岩国短期大学創立10周年記念式典挙行
平成	10年 10月	学園創立100周年記念式典挙行
	13年 4月	岩国短期大学にビジネス実務科設置
	14年 3月	岩国短期大学英語科を廃止
	18年 4月	ビジネス実務科をキャリアデザイン学科に名称変更
	20年 4月	高水高等学校付属中学校と高水高等学校の一貫教育の施行(学則に規定化する)
	25年 3月	岩国短期大学キャリアデザイン学科廃止
	30年 4月	学園創立120周年
令和	3年 4月	岩国短期大学創立50周年

(3) 設置する学校学科の名称・設立月・所在地

令和4年5月1日現在

学 校 名	設立年月	所 在 地
岩国短期大学	昭和46年4月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校付属中学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号

(4) 設置する学校学科の入学定員と学生生徒数(単位：人)

令和4年5月1日現在

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
岩国短期大学	幼児教育科	70	65	140	124
高水高等学校	普通科	280	183	840	484
高水高等学校付属中学校		70	16	210	76

【教職員の概要 専任(非常勤)】(単位：人)

令和4年5月1日現在

学校名	教員数(非常勤)	職員数(非常勤)	合計(非常勤)
岩国短期大学	13 (18)	9 (7)	22 (25)
高水高等学校	38 (11)	7 (1)	48 (10)
高水高等学校付属中学校	7 (1)	0 (0)	7 (1)

(5) 役員等の概要

(令和4年5月1日現在)

● 理事の就任年月日

定員数 理事8名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	経歴(役割)	就任	
				就任年月日 (重任年月日)	届出年月日 (登記年月日)
理事長	宮川 明	常勤	高水学園理事長	平成12年12月7日 (R2.6.1)	平成24年10月31日 (H24.10.22)
常務理事	宮川 洋	常勤	高水高等学校 (財務担当)	平成16年10月13日 (R2.6.1)	平成24年10月31日 (H24.10.22)
理事	加藤 善美	常勤	岩国短期大学学長(教学)	平成25年4月1日 (R2.6.1)	平成25年4月9日
理事	高田 美樹	常勤	高水高等学校校長(教学)	令和4年5月1日 _____	令和4年5月1日
理事	中村 洋子	常勤	岩国短期大学副学長兼事務長 (財務担当)	令和3年4月1日	令和3年4月1日
理事	松原 一誠	非常勤	錦ドリーム開発取締役 (広報担当)	平成17年4月1日 (R2.6.1)	平成24年10月31日
理事	富沢 佐一	非常勤	前中国新聞社客員編集委員 (広報担当)	平成24年10月13日 (R2.6.1)	平成24年10月31日
理事	館 澄子	非常勤	高水学園同窓会副会長 (教学指導担当)	平成27年4月1日 (R2.6.1)	平成27年4月1日

● 監事の就任年月日

区分	氏名	常勤・非常勤の別	就任	
			就任年月日 (重任年月日)	届出年月日
監事	村元 真澄	非常勤	平成27年12月10日 (R2.6.1)	平成27年12月14日
監事	稗本 哲也	非常勤	平成31年3月1日 (R2.6.1)	平成31年3月1日

(6)評議員の概要

(令和4年5月1日現在)

(定員数17名)

氏名	主な現職等	就任	
		就任年月日	重任年月日
宮川 明	理事長	令和3年4月1日	
宮川 洋	常務理事	平成17年4月1日	令和2年6月1日
加藤 善美	理事	平成29年3月2日	同上
高田 美樹	理事	令和4年5月1日	
中村 洋子	理事	平成28年10月13日	令和2年6月1日
松原 一誠	理事	平成12年10月13日	同上
富沢 佐一	理事	平成16年10月13日	同上
館 澄子	理事	平成12年10月13日	同上
前田 茂雄	前高水高等学校長	平成23年4月1日	同上
西村 宏	高水学園同窓会副会長	平成22年4月1日	同上
渡辺 耕而	元高水高等学校付属中学校長	平成20年3月1日	同上
吉岡 賢一	高水学園同窓会副会長	平成15年7月16日	同上
長尾 泰子	元高水学園嘱託	平成12年10月13日	同上
玉田 和子	錦病院理事	平成16年10月13日	同上
松本 泰行	元高水高等学校教頭	平成28年10月13日	同上
若本 公夫	岩国短期大学広報センター長	令和4年4月1日	
河本 智勇	高水高等学校事務長	令和2年6月1日	

(7) 校地校舎等の状況

① 校地等

区分	(学校名)		岩国短期大学		高水高等学校・中学校		合計	
	専用	共用	専用	共用	専用	共用	専用	共用
所有	34,551.00	m ²	34,551.00	m ²	131,822.00	m ²	131,822.00	m ²
借用			0.00				0.00	
合計	34,551.00	0.00	34,551.00	0.00	131,822.00	0.00	131,822.00	0.00
最終届出年月日	H21年12月28日		H10年2月3日				年月日	

② 校舎等

区分	(学校名)		岩国短期大学		高水高等学校・中学校		合計	
	専用	共用	専用	共用	専用	共用	専用	共用
所有	8,705.00	m ²	0.00	8,705.00	m ²	18,482.00	m ²	27,187.00
借用							0.00	27,187.00
合計	8,705.00	0.00	8,705.00	0.00	18,482.00	0.00	27,187.00	0.00
最終届出年月日	H17年5月31日		H29年7月13日				年月日	

II. 事業の概要

■【法人全体】

教育振興寄付金の活動を継続し、外部資金を獲得することができた。

■【短期大学】

I. 事業報告

1. 保育のスペシャリストを養成し、地域に信頼される特色ある短期大学づくり

本学の建学の精神は、「楽学」である。この建学の精神「楽学」に基づき、教育理念と幼児教育科の教育目的を次のように定めている。

<教育理念>

・徳性の陶冶を重んじ、人間性を練り鍛え、豊かな人間形成を図る。

・地域に生きて働く人材を養成する。

<幼児教育科教育目的>

保育に関する実践的な知識と技能を協働的な学びの環境において主体的に習得し、課題解決能力と創造力、コミュニケーション能力を会得させ、ボランティア活動などの地域貢献を通して敬愛の精神の練成を図り、学生自らの徳性の陶冶を通じて保育者としての使命感を持ち、社会的に有為な人物となるよう教導することを教育目的とする。

建学の精神に基づく教育目的を達成するために、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格の取得、それに伴う身につける資質・能力を4つの学習成果として定め、保育のスペシャリストの養成を念頭に、学生にその自覚と意識を常に覚醒させるべく具体的な教学活動を実施していく。

<幼児教育科の学習成果>

保育者としての専門的な知識と技能	・保育者としての専門的な知識や技能を習得している。 ・保育現場で生かす実践力が身についている。
表現力と コミュニケーション能力	・音楽・造形・身体表現等の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる。 ・他者との円滑なコミュニケーションを図りながら、問題を解決することができる。 ・社会人として求められるコミュニケーション能力や、基本的な礼儀作法を身に附けています。
責任感と協力性	・授業や行事等に積極的にかかわり、一つの目標に向かって協働して取り組むことができる。
地域貢献と敬愛の精神	・ボランティア活動や行事への積極的な参加を通して地域社会に貢献することができる。

その他、基礎科目において、高等教育における基礎的学力を保証するために、基礎ゼミナールを開設し、教養科目においては幼児教育を包括的に支える講義内容を提供する。これらの教養教育を通じて正しい人生観と開かれた社会性を持った職業人として生きる誇りと自覚を与える。

本年度の最優先課題は、学生募集であり、幼児教育科単科の短大として山口県東部地区における地域の活性化に貢献する地域貢献事業を展開していくことである。この事業展開の中で地域の本学における認知度を向上させ、本学への進学率を高めることと、地元保育関係者の本学への信頼に基づく就職などの協力体制をさらに強化していくことをめざす。

地域貢献事業は、次の項目を中心として展開していく。

◆「岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)」の事業の推進

◆岩国市、岩国商工会議所との連携協定の事業の推進

◆高大連携協定校との事業の推進

時代の変化は厳しいものがあるが、本学は単科の短期大学として他に類を見ない事業展開を通じて、18歳人口の減少が続く少子化社会の中で、その真価を發揮して地域に根付き、地域に生きて働く人材を養成していく。

さらに、継続して、ICT(Information and Communication Technology(情報通信技術))教育の推進を行う。知識や情報をインターネットでいくらでも手に入れられるようになった今、膨大な知識や情報の中から必要なものを主体的に選び取り、活用できる「情報活用能力」や「創造力」の育成が急がれている。本学でも、パソコンやタブレット端末、プロジェクターや、学習用のソフトウェア等を活用した教育を推し進め、21世紀型スキルへの対応を図っていく。また、新型コロナウイルス感染症禍の現状を受け、オンライン授業は不可避である。そのメリットとデメリットを考慮しながら、本学のICT教育の構築をめざす。

本年度の具体的な取り組みは、次の事業内容に記す。

2. 質の高い教育の実践と地域密着の短期大学

(1)保育のスペシャリストを養成

【保育者としての専門的な知識と技能】

① 「お店屋さんごっこ(1年)」「大学祭・キッズルーム(1年)」「Iwatan 親子フェスタ(1・2年合同)」の系統的な実施

○「お店屋さんごっこ」⇒新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、7月開催を延期とし、大学祭の「キッズルーム」に替えて実施

○「Iwatan 親子フェスタ(1・2年合同)」⇒新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、来場制限(親子100組)して3月5日(日)に対面形式にて実施

② 教育・保育実習の充実

・専門性が高く保育実践力のある保育者を養成するために「模擬保育」「1・2年生合同学習会」「実習事前指導(絵本100冊読み等の取り組み、保育現場でよく使う漢字テスト、手遊び歌、パネルシアター、素話等)」「自主実習の推奨」等の取り組みを行った。なお新型コロナウイルス感染症対策の観点から「教育・保育実習連絡協議会」「施設実習連絡協議会」はリモートで実施した。

③ 就職支援の充実

・就職支援システムの推進(「プレカレッジ」「新入生研修会」「基礎ゼミナール」「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「保育・教職実践演習研究発表」「フォローアップセミナー」「卒業後3年目のキャリアアップ研修」において入学前から卒業後までの一貫した就職支援の実施)

キャリア支援センターが主体となり、全教職員で職業教育を行った。主な取り組みは次のとおりである。

* 入学予定者を対象とした「プレカレッジ」(入試広報センター主催)

* 入学直後の「新入生研修会」、1年生前期「基礎ゼミナール」、1年生後期、2年生前・後期の「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等による職業教育

* 2年生前期に現職園長による面接指導講座

* 卒業後3ヶ月目に「フォローアップセミナー」、「卒業後3年目のキャリアアップ研修」(こども未来保育研究所主催)を本年度は対面で開催できた。

・「ようこそ先輩!保育実践力養成講座」を開講し、保育・福祉現場では活躍している卒業生を講師として招き、就職体験講話・ピアノの弾き歌い、ワークショップ等をとおして、保育実践力や学生の就職意識が高まっていくよう努めた。講座概要は以下の通り。

令和4年度「ようこそ先輩!保育実践力養成講座」

回	月 日	対象	講 師
第1回	令和4年5月13日(金)	2年生	認定こども園川西保育園勤務 米光 沙羅先生(令和元年卒)
第2回	令和4年9月30日(金)	2年生	認定こども園岩国東幼稚園勤務 小川 和奈先生(平成30年度卒)
第3回	令和4年12月16日(金)	1年生	共栄養育園勤務 粟屋 清隆先生(令和2年度卒)

・現職園長による面接指導講座

認定こども園の園長を招き、面接での注意点などを直接指導していただいた。

・就職支援システムの推進(「プレカレッジ」—「新入生研修会」—「基礎ゼミナール」—「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」—「保育・教職実践演習研究発表」—「フォローアップセミナー」・「卒業後3年目のキャリアアップ研修」において入学前から卒業後までの一貫した就職支援の実施)

・就職ガイダンス、東部校訓練生の受け入れと就職ガイダンスの実施

全学生に対して、1年次には「前期オリエンテーション」「基礎ゼミ」「後期オリエンテーション」「キャリア開発Ⅰ」、2年次には「前期オリエンテーション」「キャリア開発Ⅱ」「キャリア開発Ⅲ」の授業の中で就職ガイダンスを行い、本年度も就職率100%を達成した。

例年山口県立東部高等産業技術学校の保育士養成科の訓練業務及び就職支援業務委託制度を利用した社会人を受け入れている。年3回の就職ガイダンスを実施し、日々の保育職への就職支援を行い、希望先に就職できた。

・就職面談、面接指導の実施

キャリア支援センター職員が進路希望調査に基づき、全学生を対象に1回20分程度の就職個人面談を行っている。ネットでの面談予約システムにより、学生が利用しやすいように改善を図った。また学生が積極的に自分自身の就職活動を進めていくために報告・連絡・相談を重視した支援を行った。

・就職試験対策講座の実施

山口県私立幼稚園協会、岩国私立幼稚園協会等が実施する適性試験の対策として、就職試験対策講座を次の通り計画し開講した。

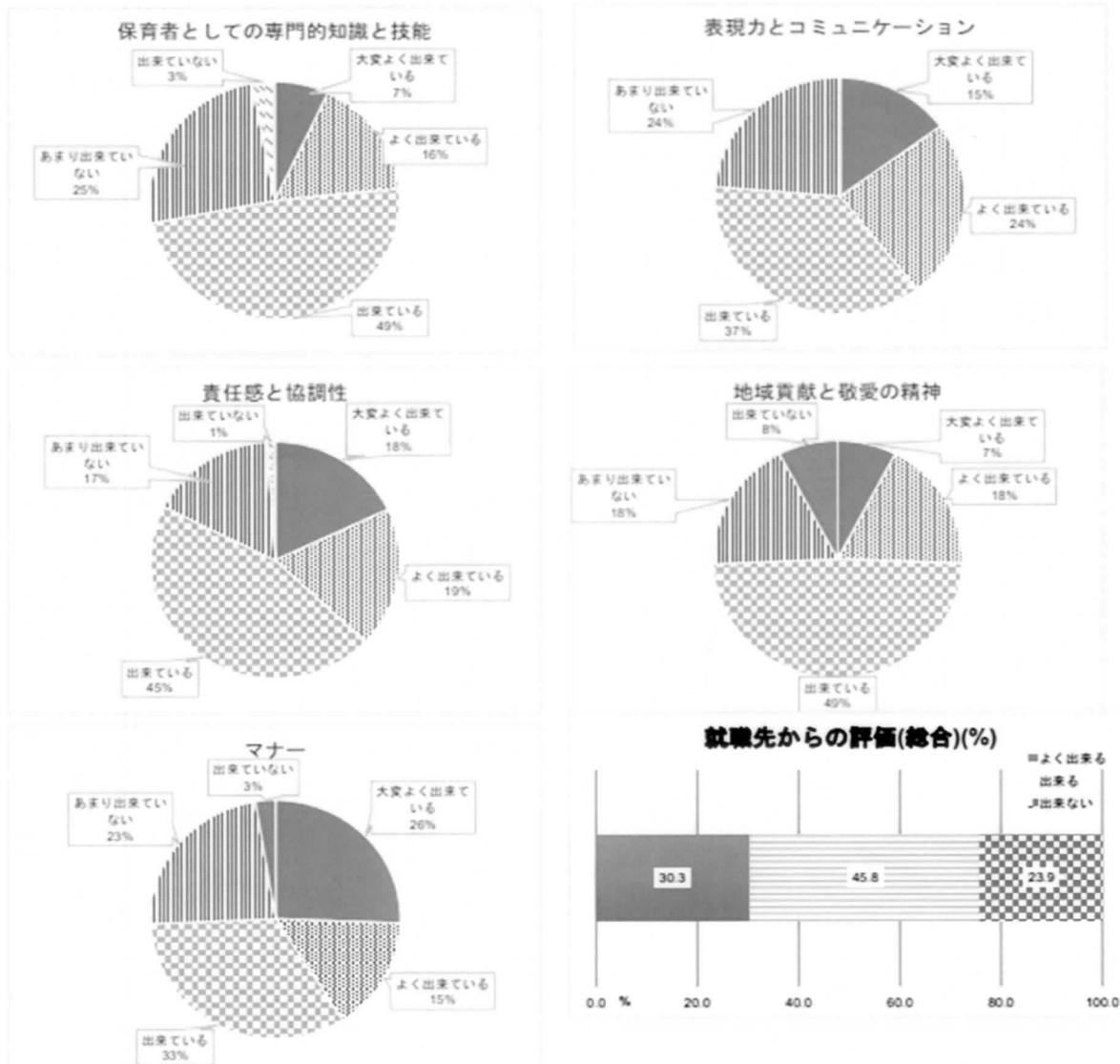
令和4年度 山口県・岩国市立幼稚園教員採用試験対策講座

月 日	曜 日	時 間	内 容	対 象	担 当
4月8日	金	5限	就職試験に向けての説明会	全員	佐々木
4月19日	火	5限	数的理解	全員	竹野
4月26日	火	5限	教育行政について	全員	正長
5月13日	金	5限	幼稚園教育要領、幼稚園の先覚者	全員	富田
5月17日	火	5限	人間関係	全員	荒谷
5月20日	金	5限	環境	全員	水鶴口
5月27日	金	5限	表現	全員	朝倉
6月14日	火	5限	造形講座	全員	向山
6月17日	金	5限	論作文	全員	宮下
6月23日	木	5限	身体表現(体育)岩国市	岩国市	西本

・卒業生就職先アンケートの実施による教育・就職支援の改善

教育・就職支援の自己点検・評価活動のために、卒業生就職先へのアンケートを実施している。本学の学習成果「保育者としての専門的な知識と技能」に関すること、「表現力とコミュニケーション能力」

に関すること、「責任感と協調性」に関すること、「地域貢献と敬愛の精神」に関すること22項目無記名方式で、5段評価で回答を得た。アンケートの結果は内容ごとに集計し、その結果を教授会等で報告し、全員で学習成果の点検に活用した。



令和3年度卒業生就職先アンケート結果

・県内就職率向上のための取り組み(就職開拓訪問、就職ナビ in いわたん)

毎年「就職開拓訪問」を実施している。新卒者の就職先を訪問し、卒業生との面談を行い、状況を把握したり、園長等から本学への要望等を聴取したりすることで連携を深め、就職に繋げている。

「就職ナビ in いわたん」を県内東部地区の幼稚園・保育所・認定こども園・施設の合同説明会へ拡充したが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から対面での実施を中止とし、「Web版就職ナビ in いわたん」をオンラインで実施した。なお本年度は学生の居住地域である広島県西部地区にも範囲を広げたことで就職活動に有益であった。

【表現力とコミュニケーション能力】

① ウィンターコンサート、卒業記念コンサート等の実施

ウィンターコンサート、卒業記念コンサート等の実施により、表現力の育成に努めている。本年度のウィンターコンサートは、全学生がクラスごとに協力して練習に取り組み、学年ごとではあったが、演奏発表を行うことができた。また、学位記授与式では、卒業記念コンサートを開催し、選抜された学生による演奏発表を行った。

② 現場に即した幼児体育の模擬授業や1・2年生合同運動会の実施

「幼児体育Ⅰ・Ⅱ」の授業では、保育実践力を身につけるための模擬授業や1・2年生合同運動会の取り組み等、現場に即した内容を多く取り入れ、実施している。合同運動会は、本年度もチームごとに他者とのコミュニケーションを図りながら創意工夫を図り準備をしてきたが、感染症対策により残念ながら中止となった。

③ 「クリエイティブ・ムーブメント」による本学独自の自己表現力育成教育の推進

「クリエイティブ・ムーブメント」では本学独自の自己表現力育成教育を行っている。本年度は、コロナ禍による対面授業の制限の中、自己表現の方法や意義、コミュニケーション能力の向上をめざし、授業以外でもオープンキャンパスの学科紹介や清流祭の劇発表で成果が見られた。

④ 中・四国保育学生研究大会への継続的な参加

本年度は対面での中・四国保育学生研究大会は行われず、参加できなかった。

【責任感と協力性】

- ① 協働的な学習・行事への取り組み(「お店屋さんごっこ(1年)」「大学祭・キッズルーム(1年)」「Iwatan 親子フェスタ(1・2年合同)」の実施、1・2年生合同運動会、1・2年生実習合同学習会等)新型コロナウイルス感染症対策を行い、「お店屋さんごっこ」は大学祭の「キッズルーム」に替えて、「Iwatan 親子フェスタ(1・2年合同)」も予定通り実施することができた。また、1・2年生合同運動会、1・2年生実習合同学習会も実施し、これらの活動を通して、一つの目標に向かって協働して取り組むことができた。

② 中・四国保育学生研究大会への参加

本年度は対面での中・四国保育学生研究大会は行われず、参加できなかった。

【地域貢献と敬愛の精神】

① 岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)の事業の充実

例年、岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)は、岩国市と共同開催する「保育者対象研修会(年2回)」、「Iwatan 親子広場(年6回)」と3月に開催する「Iwatan 親子フェスタ」の事業を展開している。

・第12回「Iwatan 親子フェスタ」の開催(3月)

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、来場制限(親子100組程度)をして3月5日(日)に開催した。親子110組352名の集客があった。

・「Iwatan 親子広場」の開催(年間6回)

○令和4年度「Iwatan 親子広場」実施状況及び参加者数

回	日時及び講師	講座名	学生ボランティア(人)	参加親子(組)	保護者(人)	子ども(人)	合計(人)
1	5月7日(土) 10:00~11:30 講師:岩国短期大学 正長 清志	親子でパラスポーツに 挑戦しよう ～風船バレー、ボッチャ～	8	8	11	11	22
2	6月19日(日) 10:00~11:30 講師:岩国短期大学 西本 裕子	走って、跳んで! 楽しい運動遊び	10	14	16	22	38

	7月9日(土) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 朝倉 なぎさ	親子でワクワク表現遊び ～なりきり遊びを楽しもう～		新型コロナウイルス感染症拡大防止 のため8/21に開催日を変更				
3	8月21日(日) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 朝倉 なぎさ	親子でワクワク表現遊び ～なりきり遊びを楽しもう～	10	6	7	10	17	
4	9月23日(金・祝) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 井上 美佳	親子 de リトミック	10	7	9	9	18	
5	10月22日(土) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 富田 雅子	表現遊び ようこそ絵本の世界へ	10	4	6	7	13	
6	11月3日(木・祝) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 水鶴口 陽一	えーどうして? 親子で楽しむ科学実験	17	8	11	12	23	
合 計			65	47	60	71	131	

・岩国市との共同開催による保育者対象研修会の実施(年間2回)

本学を会場とする岩国市との共同開催による保育者対象研修会は、年間2回開催しており、全学生及び全教員も受講することとし、以下の通り開催した。なお、第1回、第2回ともオンライン形式で実施した。

回	開催日時	演題	講師名
1回	7月30日(土) 14:00～15:30	保育者の専門性を高めるために	やまぐち子育て福祉総合センター 所長 林 和子先生
2回	1月28日(土) 14:00～15:30	非認知能力を育む	山口大学教育学部附属山口小 学校・附属幼稚園 校長・園長 吉鶴 修先生

② 岩国市、岩国商工会議所との連携推進

岩国市との包括連携協定に基づき、岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)に関する事業を行い、連携推進を図り、年1回行っている包括連携協定推進会議においては、岩国市の各部署との意見交換をし、事業推進にあたっては担当者同士の連携を密にして事業実施が円滑に行われるよう工夫し、岩国市子育てアプリや岩国市フェイスブックで各種行事を発信した。

本学が行う生涯学習公開講座や地域の子育て世代を対象にしたイベント等、岩国市と協力し実施できている。また、昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学外でのボランティアの参加を自粛していたが、本年度は、岩国市が行う多くの行事に積極的にボランティアに参加し、プロ野球交流戦のボランティア、岩国市美展への作品の出展、岩国市歴史博物館の岩国短期大学ギャラリーの設置など、地域に多大な貢献をしている。

また、岩国市長を客員教授として迎え、特別講義も実施している。

特に、第12回「Iwatan 親子フェスタ」は、昨年度はWebで開催したが、本年度は、本学内で352名の参加で開催している。

岩国商工会議所とは、岩国商工会議所が主催する「岩国祭」への学生のボランティア参加や岩国短期大学が中心となって行う「Iwatan 親子フェスタ」への販売ブースの設置など連携してきている中で、「岩国祭」は、昨年度、本年度、新型コロナウイルス感染症対策のため縮小され、ボランティア活動も自粛している。「Iwatan 親子フェスタ」は、昨年度はWebで開催したが、本年度は、本学内で352名の参加で開催している。また、岩国国際観光ホテルに岩国短期大学ギャラリーを設置している。

③ 高大連携協定校との連携推進

高大連携協定校7校との推進会議を2回ずつ開催することができた。

また、協定校に対して多くの出前授業を実施することができた。

協定校名	第1回推進会議	第2回推進会議	出前授業実施回数
山口県立岩国総合高等学校	5月17日(火)	2月24日(金)	3
山口県立岩国商業高等学校	5月31日(火)	2月2日(木)	0
山口県立高森みどり中学校・高森高等学校	5月18日(水)	2月17日(金)	中学校5 高校7
広島県立大竹高等学校	6月29日(水)	3月14日(火)	1
山口県立熊毛北高等学校	6月8日(水)	1月26日(木)	2
山口県立熊毛南高等学校	10月20日(水)	2月13日(月)	3
山口県立周防大島高等学校	10月25日(火)	2月24日(金)	0

3月5日(日)に実施した「第12回 Iwatan 親子フェスタ」では、各高校がブース出展をしたり、ブースでの活動援助を行ったりしてフェスタを盛り上げていただいた。

④ 学生ボランティア活動の推奨

・「学生ボランティア活動記録」の記入

学生全員に「ボランティア活動記録カード」を配付し、ボランティア活動を記録するようにしている。ボランティアの活動時間数などにより表彰制度を設けているため、学生のモチベーションにもなっている。また、記録することでボランティア活動への意識づけとしても活用している。

・年間最低2回のボランティア活動の義務化

本学に依頼がある地域からのボランティアの他、1年生は年間6回開催する「Iwatan 親子広場」に参加し、併せて年間2回以上のボランティア活動に参加することを義務化し、コロナ禍ではあったが、1年生は全員2回以上のボランティア活動を行った。

・宮川澳男賞、地域貢献奨励賞の表彰

宮川澳男賞・地域貢献奨励賞受賞学生の選出については、受賞候補となる学生として、46時間以上の地域社会への貢献活動に参加していることとしている。

宮川澳男賞2名、2年生受賞候補となる学生を、地域貢献奨励賞を受賞する学生から、2年間の在籍中、ボランティア活動に積極的であった学生を学位記授与式に表彰している。近年の実績は、次の表のとおりである。

○宮川澳男賞、地域貢献奨励賞受賞者数と割合の推移

	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
受賞者数 (宮川澳男賞2名を含む)	26人	44%	18人	45%	17人	39%	24人	46%

⑤ 生涯学習公開講座の開催(年2回)

生涯学習公開講座は、地域市民のために、年間、前期と後期に分けて開設している。

令和4年度生涯学習講座の実績は次のとおりである。

【前期】

単位：人

講座名	参加者数
楽しい声楽～歌曲からオペラアリアまで～	18
ときほぐし講座～笑って元気になろう～	6
はじめよう！英会話～保育者のための初級英会話～	9

【後期】

単位：人

講座名	参加者数
パソコン講座～Wordで作ろう～	8
親、保育士、教師のための発達障害入門	44

⑥ 1・2年合同集会の実施

1・2年生との親睦を図り、敬愛の精神を育成するために実施している。実施日内容は以下の通りである。

実施日	4月22日(金)	5月28日(土)	6月24日(金)	10月7日(金)	11月19日(土)
内容	校歌指導 建学の精神とは	本学が目指す 学生像とは	ミニインドア・ア スレチック	障害者スポーツ レクリエーション	いわたん検定

(2)入学定員確保

① 魅力あるオープンキャンパスの実施

・オープンキャンパス強化プロジェクトの推進

月1回程度のペースで開催するOCP(Open Campus Project)会議(令和4年度12回開催)では、年間計画や年8回のオープンキャンパスの実施要項の策定を行っている。オープンキャンパスに参加した高校生、保護者の方に本学の良いところを理解していただくために、各回の内容を充実させ、より魅力あるものにするための協議を重ねている。実施後はオープンキャンパスニュースを作成し、学内(学生・教職員)へ発信している。また、出身校別のキャンパスメイトを掲載したチラシを作成し、各高校へ配布することで参加者の増加に努めている。

・年間8回のオープンキャンパスの実施

令和4年3月20日(日)～12月17日(土)まで8回のオープンキャンパスを実施した。日程とテーマは以下のとおりである。新型コロナウイルス感染対策を十分に行い、午前中に縮小し対面で開催した。遠隔地や感染の不安を持つ参加者のために、対面とzoomでの開催のハイブリッドで計画・実施した。7月については新型コロナウイルス感染症防止の観点から直前中止となった。

令和4年度オープンキャンパスの概要

回数	日程	テーマ	参加人数	キャンパスメイト
1	3月20日(日)	夢は保育者！	13名	14名
2	6月19日(日)	保育者をめざすならいわたん	27名	28名
3	7月9日(土)	保育者の仕事大好き！		準備 31名
4	8月6日(土)	保育のテーマパークいわたん	54名	28名
5	9月23日(金・祝)	幼児と一緒に遊ぼう！	45名	20名
7	10月22日(土)	夢をかたちに・現役保育者を招いて	20名	21名
8	11月20日(日)	清流祭を楽しもう！	17名	7名
9	12月17日(土)	いわたんウインターフェス	8名	25名

・広報活動の充実(DMの活用、高校訪問等)

各回のオープンキャンパス開催に合わせてDMを発送して参加を呼び掛けた。毎回、DM見て参加予約を入れている高校生もあり、効果が見られた。また、キャンパスメイトとして参加する学生の出身校に写真入りでオープンキャンパスの案内チラシを作成して送付した。

・表現力を生かした学生による学科紹介の取り組み

学生による学科紹介では、キャンパスメイトが授業を通して培った力を発揮し、参加高校生に本学の紹介を行っている。クリエイティブ・ムーブメント、図画工作、音楽や幼児体育などから内容をピックアップし、

学生と指導担当教員で2ヶ月前から計画、準備、練習を行っている。参加した高校生のアンケート結果を見るととても良かったという感想が多く、学生募集の絶好の機会となっていることが分かる。また、明るく生き生きと頑張っている学生と触れ合えることも、高校生や保護者にとっても貴重な機会となっている。

・幼児を招いてのオープンキャンパスの実施

第5回「幼児と一緒に遊ぼう！」では、同日開催された第4回iwatan親子広場「親子 de リトミック」に高校生がキャンパスメイトと一緒に参加した。幼児と一緒に活動することで、保育者としての目標を明確にするとともに、親子広場の学生ボランティア(本学1年生)の様子を知ることで、本学の学生像のイメージを持つことに繋がった。

・現役の卒業生を招いてのオープンキャンパスの実施

第6回「夢をかたちに・現役保育者を招いて」では、本学の卒業生である現役保育者を招いて、実際の保育の現場での話や仕事のやりがいについて学ぶ機会を設けた。手遊びや子どもと遊べるおもちゃの製作を行うことで、楽しみながら保育について大切なことを学ぶことができた。参加者にとって保育者の仕事についてイメージを持つことができ、学生募集に繋がる内容となつた

② 本学独自の奨学金制度の拡充

・高大連携協定校に対する奨学金

高大連携協定校からの意欲ある学生を迎えるため「高大連携協定校奨学金」を整備しており、協定校在籍の生徒が学校推薦型選抜(指定校推薦)によって受験し、合格した場合には入学金を半額免除することとしている。令和5年度入学者選抜においては12名の受験者がこの奨学金の適用を受けた。

・指定校推薦校に対する奨学金

指定校から意欲ある学生を迎えるため「学校推薦型選抜(指定校推薦)成績優秀者奨学金」を整備しており、令和5年度入学者選抜においては1名が高校時代の評定平均値が4.5以上で成績優秀者として入学金全額免除の対象となつた。

・総合型選抜特別奨学金

総合型選抜の受験合格者のうち、成績上位者から5名まで「総合型選抜特別奨学金」として入学金全額または半額免除している。令和5年度入学者選抜においては、3名が半額免除対象者となつた。

・遠隔地出身学生に対する生活支援奨学金制度

遠隔地からの入学者を支援するため、「遠隔地出身学生生活支援奨学金」を整備しており、令和4年度においては、山口県美祢市出身の学生1名がこの制度を利用して1ヶ月につき1万円の授業料面免除を受けた。

・社会人の学び直しや就学を支援するための社会人進学支援奨学金

社会人の修学を支援するため、社会人選抜による入学者を対象に授業料を半額免除する社会人進学支援奨学金を整備している。令和3年度には対象となる学生が1名入学し、適用された。

③ 中・高大連携授業の推進

・「保育者をめざす高校生のための高大連携授業プログラム」のパンフレット配布と実施

令和4年度、「保育者をめざす高校生のための高大連携授業プログラム」のリーフレットを500部作成し、各高等学校へ配布して利用を呼び掛けた。本学の協定校においては積極的に利用され、出前授業の機会を多く持つことができた。

・高大連携協定校の開拓

令和4年度においては、新たに高大連携協定校を開拓することができなかつた。一方、新型コロナ禍の影響で推進会議を開催することも難しい時期が続いていたが、7校の協定校すべてと年間2回の推進会議を開催することができた。

・高水高等学校等の単位互換制度の継続

令和3年度より高水高等学校との単位互換制度が始まった。本年度は12名の高水高等学校3年

生を本学科目等履修生として受け入れ、高水高等学校科目『幼児教育演習』と本学科目『音楽表現技術』との単位互換を行った。このうち、9名の高水高等学校生徒が令和5年度の本学への進学を予定している。

・高水高等学校との推進協議会の推進(合同研修会、合同オープンキャンパスの実施)

高水高等学校との連携を深めるために、お互いの研修を案内する取り組みを続けている。また、高水高校の先生方と経営財務状況等の改善に関する説明会とSWOT分析合同研修会を行った。学生確保のためにどのようなことができるかSWOT分析で話し合い、法人へ提案した。高校の先生方と研修会を通して情報の共有と学園間での交流から、共通の課題を認識することができた。

オープンキャンパスの同時開催を、8月に高校のオープンスクールに合わせ実施した、魅力ある高水学園を感じてもらえるように、岩国短期大学の学校案内やパンフレットを配付した。中学生に幼児教育に少しでも関心を持ってもらう工夫をした。キャリア教育の一環として大学の魅力を中学生や保護者、中学校の先生方に伝えることができた。

令和4年度高水学園教職員合同研修会及び推進会議の実施

日時	内容
6月10日(金)16:30～17:30	第1回高水高等学校進路説明会及び推進会議
7月29日(金)11:00～12:00	SWOT分析事前打ち合わせ会議
8月2日(火)14:00～16:00	岩国短期大学・高水高等学校合同研修会(SWOT分析)
8月24日(水)15:00～17:00	推進会議「SWOT分析・経営財務状況の説明会
8月24日(水)17:20～19:10	第2回高水高等学校進路説明会及び推進会議
9月7日(水)14:00～15:30	岩国短期大学ハラスマント研修会

・高大連携協定校へのIwatan 親子フェスタへの協力依頼による連携強化

本年度は、対面での「Iwatan 親子フェスタ」を開催することができた。高大連携協定校の8校のうち、ブース参加が4校、ボランティア参加が4校と全ての高大連携協定校の協力があり、連携強化が図られている。

(3)教職員の資質向上

① FD研修による授業改善

○学内研修会(幼児教育科)の実施について、研修内容は次のとおりである。

回	研修名	実施日
第1回	e-Learningによる研究倫理について	4月1日(金)
第2回	巡回実習指導報告書・保育実習指導案の作成について	5月25日(水)
第3回	Google Classroomの活用法	6月29日(水)
第4回	保育内容(言葉)におけるICTを活用した授業実践発表	7月20日(水)
第5回	外部講師による研修 広島大学大学院教授 七木田敦先生	9月6日(火)
第6回	来年度シラバス作成に向けて	10月26日(水)
第7回	学生の自己評価に関する研究報告	11月16日(水)

さらに、教職員合同のFD・SD合同研修会として、自己点検評価全体研修会を8月3日(水)と、新型コロナウィルス感染症の予防について12月7日(水)に実施した。

② SD研修の充実

SD活動は、「岩国短期大学SD実施委員会規程」により、毎月1回の定例委員会を開催し、事務局の業務の見直しや事務処理の改善等、事務職員の能力開発等を行っている。さらに、学外研修参加後には、学内での報告会を実施し、情報の共有に努めている。SD研修会は、事前に事務職員全員に対し、今後必要と思われるスキル等についてアンケートを行い、それを参考にしながら実施している。本年度の

SD 研修会の実施状況は次のとおりである。

令和 4 年度 SD 研修会

月 日	研 修 内 容
4 月 27 日(水)	「学生コンテンツ」活用について
5 月 6 日(金)	「Google Classroom」「Google form」等の活用について
8 月 24 日(水)	経営・財務状況等経営改善に関する説明会
8 月 31 日(水)	「Google Classroom」「Google form」等の活用(復習)について 「学生コンテンツ」活用について
10 月 13 日(木)	学生生活指導担当者研究会報告 入試受付業務について
2 月 9 日(木)	窓口対応マニュアルの見直し

③ 教職員合同研修会の実施(SWOT 分析、財務状況説明会、ハラスメント研修会 等)

教職協働の観点から、本学の教育推進及び教職員の資質向上を目的として、教職員合同研修会を次とのとおり実施した。なお、本年度も岩国短期大学・高水高等学校合同の「SWOT 分析」の研修を行った。

令和 4 年度教職員合同研修会

月 日	内 容
8 月 2 日(火)	岩国短期大学・高水高等学校合同推進会議「SWOT 分析」
8 月 3 日(水)	自己点検・評価教職員全体研修会
8 月 24 日(水)	経営・財務状況等経営改善に関する説明会
9 月 7 日(水)	ハラスメント研修会
12 月 7 日(水)	ノロウイルス及び新型コロナウイルス感染症の予防について

④ 自己点検・評価活動の推進(P-D-C-A サイクルによる教育の質の保証)

・「学校運営方針」の策定と反省総括

本学では、科の教育活動組織及び教職員学内運営組織により、PDCA サイクルを用いて自己点検・評価活動に取り組んでいる。本年度は、昨年度の反省総括を踏まえ、年度初めに「学校運営方針」を策定し、具体的な実践を行った。各部、委員会等で、実施した結果のデータやステークホルダーによる評価などを収集、分析し、3 月に反省総括を行った。

・IR(Institutional Research)推進室によるデータの収集と分析

「学力の追跡調査」を中心にデータ収集と分析を行った。データ収集については学習成果個人 Check カード、GPA 値、退学者数等を主なデータとし、分析については高校別、選抜別に集計・分析を行った。その結果、例年 2 年次後期に学習成果の向上が見られるが、ほぼ変化が見られなかった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な行事等は中止や規模縮小、方法を変えての実施等となり、その影響が表れていると推察する。

(4)ICT(Information and Communication Technology)教育の推進

・ICT教育を活用した授業の推進

令和 2 年度に作成した「岩国短期大学 ICT(情報通信技術)活用スキル習得プログラム」を推進し、活用スキルの向上と授業改善に取り組んでいる。特に、コアカリキュラム対象科目を中心に、保育者養成における ICT 活用を、①学生の学びを深める活用②学生が学びを深める活用③幼児の学びを深める活用とし、講義の工夫を行った。

・「Web 版実習サポート」「Web 版施設実習サポート」の活用

「Web 版実習サポート」として、専任教員が担当科目の演習ビデオを作成し、新型コロナウイルス感

染症対策に活用した。学外での実習では、毎日の出勤状況を確認し、問題が生じた際には学生や実習先への速やかな対応ができた。

・「Web版保育技術」の新設

「Web版保育技術」として、手遊び等の演習ビデオを作成する準備を進めている。

・LINEを活用した就職支援の推進

キャリア支援センターでは、卒業後の就職支援に3年間LINEを開設し、卒業後気軽に相談できる窓口として活用している。また早期離職防止対策で開講する「フォローアップセミナー」の案内や実施後のアンケート結果の報告にも活用した。さらに「卒業後のアンケート」の連絡では、回答率向上につながり、今後の学校教育に反映していきたい。そのほかに、山口県立東部高等産業技術学生への毎月の就業支援もLINEにてを行い、勤務時間に影響することなく確認することができた。

(5) 感染症対策室を中心とした健康・安全な学校生活の運営

・新型コロナウイルス感染症等への早期の対応

新型コロナウイルス感染症対策を敏速に行うために、感染症対策室での「岩国短期大学コロナウイルス感染症対応マニュアル」「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の改善を国の指針に基づき、敏速に対応した。感染が広がっている時期には、meet会議を含め迅速に会議の開催を行った。地域への安心を考え、学内の罹患者等をホームページで迅速に月2回学内外に情報発信した。

・感染防止対策

学内での感染予防策としては、教職員が一丸となり授業終わりの消毒等を実施し、換気等に取り組んだ。

学生には、毎朝の健康チェックを実施し、安心な教育環境づくりを行った。

・新型コロナウイルス感染症集団接種対応

学生が安全に活動できるように、最新の情報提供に心がけ、感染防止の啓発にも取り組んだ。また、ワクチン接種の啓発や地域での集団接種の取りまとめも行い、ワクチン接種の促進に努めた。

II. 令和4年度の具体的な事業内容(短期大学)

	主な学校行事	保育者養成の取り組み	就職支援の取り組み	地域貢献の取り組み	入学定員確保の取り組み
4月	○入学式、保護者懇談会 ○オリエンテーション ○東部校訓練生入校式 ○非常勤講師会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会	* 1.2年生合同集会	* 新入生研修会 * 就職面談・面接指導 * 就職ガイダンス * 2年生就職試験対策講座	* 学生ボランティアの協力	* 指定校挨拶回り * 幼児教育科「ホットニュース」発信
5月	○学生交流会 ○後援会理事会 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○火災等防災訓練 ○岩国市長特別講義	* 1.2年生合同集会 * Iwatan 親子広場 * Web 教育・保育実習連絡協議会 * 2年生実習前学習(手遊び、パネルシアター等) * 絵本読み聞かせ指導 * 絵本100冊読みの実施	* Web 就職ナビ in いわたん * 就職面談・面接指導 * 就職開拓訪問 * 2年生就職試験対策講座	* Iwatan 親子広場 * 学生ボランティアの協力 * 生涯学習公開講座 * 岩国市との連携推進会議 * 岩国商工会議所との連携推進会議 * 高大連携協定校との連携推進会議	* 高校訪問 * 幼児教育科「ホットニュース」発信 * 高大連携授業
6月	○保護者懇談会 ○後援会総会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会	* 1.2年生合同集会 * Iwatan 親子広場 * ようこそ先輩!保育実践力養成講座(保育所編) * 教育実習Ⅱ * 保育所見学実習 * 近隣幼稚園児との芋の苗	* フォローアップセミナー * 就職面談・面接指導 * 2年生就職試験対策講座	* Iwatan 親子広場 * 学生ボランティアの協力 * 生涯学習公開講座	* 高校訪問 * 幼児教育科「ホットニュース」発信 * 高大連携授業 * オープンキャンパス * 広報誌「愛宕山」発

		植え			行 *高校進路担当者説明会
7月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会 ○教職員全体研修会	*Iwatan 親子広場 *近隣幼稚園児を招いての「お店屋さんごっこ」 *山口県保育者養成協議会総会	*就職面談・面接指導 *現職園長による面接指導講座	*学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
8月	○免許状更新講習 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○短大・高水合同研修会	*保育実習Ⅰ *施設見学実習 *学生自主実習	*就職面談・面接指導 *1年生インターンシップ実習	*Iwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *保育者対象研修会 *卒業生対象保育実践研修会 *幼稚園教諭免許状更新講習	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス *高水高校との合同OC
9月	○オリエンテーション ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○FD研修会	*Iwatan 親子広場 *保育実習ⅡorⅢ	*1年生インターンシップ実習 *就職ガイダンス(1年)	*Iwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
10月	○クリーン・プロジェクト ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会	*1.2年生合同集会 *Iwatan 親子広場 *ようこそ先輩！保育実戦力養成講座(幼稚園・認定こども編) *2年生実習前学習(素話) *教育実習Ⅲ	*就職面談・面接指導	*Iwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座 *「岩国祭り」学生ボランティア協力	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
11月	○大学祭「清流祭」 ○親守詩大会 ○後援会理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会	*1.2年生合同集会 *Iwatan 親子広場 *大学祭 *近隣幼稚園児との芋の収穫 *1年生実習前学習(漢字・手遊び)	*就職面談・面接指導	*Iwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
12月	○保護者懇談会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○ノロウイルス対策研修会	*教育実習Ⅰ *中・四国保育学生研究大会 *ウィンターコンサート *ブレカレッジ *ようこそ先輩！保育実戦力養成講座(施設編)	*就職面談・面接指導 *卒業生就職先アンケート	*学生ボランティアの協力 *第12回 Iwatan 親子フェスタ協賛依頼 *生涯学習公開講座	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス *広報誌「愛宕山」発行
1月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会	*Web 施設実習連絡協議会 *ブレカレッジ *保育・教職実践演習研究発表会	*就職面談・面接指導 *就職ガイダンス(2年)	*学生ボランティアの協力 *保育者対象研修会	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オリジナル缶バッジの制作
2月	○研究紀要の発行 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、 ○自己点検・評価運営協議会委員会 ○ハラスマント研修会	*ブレカレッジ *施設実習 *学生自主実習	*就職面談・面接指導 *1年生インターンシップ実習	*岩国市との連携推進会議 *岩国商工会議所との連携推進会議 *高大連携協定校との連携推進会議	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業
3月	○学位記授与式 ○東部校訓練生退校式 ○同窓会入会式 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会 ○自己点検・評価委員会 ○事業計画の総括と改善 ○自己点検・評価報告書	*ブレカレッジ *卒業記念コンサート *学生自主実習 *第12回 Iwatan 親子フェスタ	*就職面談・面接指導 *1年生インターンシップ実習	*学生ボランティアの協力 *第12回 Iwatan 親子フェスタ *宮川澳男賞、地域貢献奨励賞表彰 *アカデミー実行委員会 *アカデミー報告書作成	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス

	の作成 ○アカデミー報告書の作成			
--	---------------------	--	--	--

■【高等学校】

I 事業報告

今年度も依然として新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染症対策をしながら、ほぼ全ての学校行事を実施した。修学旅行は、普通科については東京方面への旅行を、六年制普通科は生徒が計画した沖縄への旅行を実施し、帰着後のPCR検査は全員陰性、その後の授業も予定通り進めることができた。授業についても、今年度はほぼ予定通り実施できた。しかし、姉妹校との国際交流については、海外渡航が正常化しない限り休止状態は続きそうである。

今年度については、次の10項目が成果として挙げられる。

1. 六年制普通科では「総合的な探究の時間」における異学年協働学習の取り組みにより、問題発見、課題解決力が増してきており、中六合同発表会の内容にも反映している。
2. 付属中と六年制普通科1年生のクロムブック購入所持により、授業等における協働学習の本格的取り組みが進んだ。
3. 懸案事項であったペプトーケ研修の実現により、「前向きな背中を押す言葉かけ」を意識した言動や状況判断力の向上が見受けられた。
4. 普通科における進路研修や特別活動の充実により、明るく生き生きと活動する生徒が増えってきた。
5. 高校課程では、スタディサプリを活用した個別学習が本格化した。
6. 付属中と友好交流の意向書を交換した台湾の建成国民中との書道展を開催。また、来年度に向け、姉妹校との国際交流再開や交換留学に向けて動き始めた。
7. 付属中と岩国基地ミドルスクールとの交流が実現し、生徒の経験値を高めることができた。
8. 感染症対策を行いながらではあるが、学校行事がほぼ予定通り実施できた。
9. 付属中の授業時間数確保に努めたことにより、ゆとりを持って授業を進めることができた。基礎学力の定着に繋げることができたと感じている。
10. 朝の校外巡回や休み時間の教室巡回などで生徒に声をかけたり、状態を把握したりすることにより、迅速な対応に繋げることができた。

II 事業内容

1. 3つの保障(人間性・基礎学力・進路)に対して以下の取り組みを行った。昨年度に引き続き、コロナ防止基本対策を講じながら実施した。

(1)学力の保障

- ①教員研修 年5回(1学期2回、2学期3回)
 - ・特別支援教室
 - ・外部研修の報告(2回)
 - ・スタディサプリの研修
 - ・防災研修
- ②教科会議 原則、毎週1回、英・数・国・社・理・保健・芸術・家庭科で実施
- ③教員相互授業参観2回(1・2学期)実施

(2)人間性の保障 特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動を通した取り組みを実施

- ①運動会 9月4日(日)

- ②楽学祭 9月22日

※保護者参観なしで実施

(3)修学旅行

○普通科2年生修学旅行 2月15日～18日、関東方面

○六年制普通科2年生 10月25日～29日、行先(オーストラリア)を変更し、沖縄へ

- ④挨拶・無遅刻無欠席運動週間 楽学石碑前、南岩国駅前で各学期 3 回実施予定であったがコロナ禍のため中止
- ⑤普通科 1 年生インターンシップ・普通科 2 年生ボランティア活動(11 月 9 日)
- ⑥部活動
 - 全国高等学校総合体育大会
 - ◇空手道部 ◇柔道部 ◇水泳部
 - NHK 杯全国高校放送コンテスト 放送部
アナウンス部門・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門
 - 春の選抜大会 ◇団体:女子ハンドボール部・空手道部 ◇個人:空手道部・柔道部

(3)進路の保障

- ①進路指導 ○外部模試の活用 進研、全統、駿台模試を実施 ○模試検討会 3 回
○リクルート・スタディサプリ到達度テスト年2回(普通科)
- ②進路研修会 ○高校保護者対象:各学年 2 回 ○生徒対象:各学年 2 回実施
- ③就職:就職模試(2 回)、就職ガイダンス(夏季休業中)を実施
 - *令和 4 年度卒業生(174 名)の進路
 - ・進学 116 名(大学 64 名、短大 13 名、専門 38 名)
 - ・就職 40 名(民間 27 名、公務員 9 名、その他 4 名)
 - ・職業訓練校 1 名

2. 学校関係者評価委員会を開催し外部委員 5 名から指導・助言を得た。

- 今年度外部委員:
PTA:三浦留美、企業:長野英彦、中儀和子、教育界:弘中幸雄、地域:山根修司の 5 名。
○各学期開催(年 3 回) 6 月 2 日、11 月 10 日、3 月 16 日
3 月に自己評価書を理事会に提出し、次年度の改善策を検討した。

3. グローバル化・異文化理解に向けた下記の予定をコロナ禍のため中止した。

- カナダ、ポールケイン高校との短期交換研修プログラム

4. 広報活動については各科の入試に向けて、広報活動を展開した。

- 六年制普通科:一般入試 1 月 8 日
 - 普通科:特別入試 1 月 8 日、一般入試 1 月 27 日
- (1)中学校への進路説明会(校長で対応)
 - 時期 6 月 3 日～7 月 8 日
 - 対象 岩国市内の中学校 12 校、大島中、柳井中、和木中 計 15 校
 - (2)中学校訪問
 - 第 1 回 6 月 29 日～4 地区(市内、玖西、柳井以西、広島西地区)計 41 校へ、教頭と科長を派遣
⇒次年度の入試について、学校案内、オープンスクールへの案内
 - 第 2 回 12 月 5 日～4 地区(市内、玖西、柳井以西、広島西地区)計 41 校へ、教頭と科長を派遣
⇒今年度入試の情報収集と入学生の情報と意見交換
 - (3)中学校教員対象進路説明会
 - 9 月 7 日 岩国市内、柳井・大島地区、西広島地区から 25 校参加
 - (4)塾対象説明会
 - 9 月 8 日 岩国市内、柳井、広島市地区から 21 名参加

(5) オープンスクールの開催(8月・10月・11月)

○第1回オープンスクール① 8月7日(日)・8日(月)

参加者:生徒 約310名、保護者等 約94名

内容 ①授業体験講座 ②クラブ見学・クラブ体験 ③校内見学

○第1回オープンスクール②8月21日(日)

参加者:生徒 112名、保護者 40名

○第2回オープンスクール 10月8日(土)

参加者:生徒 78名、保護者等 40名

内容 ①短大体験講座 ②クラブ見学・クラブ体験 ③校内見学

○入試説明会 11月12日(土) 参加者:生徒 110名 保護者等 60名

内容 ①入試対策講義 ②校内見学 ③クラブ体験

(6) その他

○長唄三味線発表会 8月28日(日)

■【付属中学校】

I 事業報告

教育基本法の教育の目的と目標の達成を主軸にこれからの時代と社会に必要な教育として、次の3点を掲げ、実践した。

1. 志を育む教育

各教科、特別活動等も含め教育のあらゆる場面に、問題点を発見し課題としてまとめる能力および、その課題を解決していく能力を高めるためにできるだけ探究学習を取り入れるよう促してきた。

2. 多様性社会を生き抜く教育

急激なAI化、グローバル化、少子高齢化によって多様性社会の実現は急務である。ところが、今年度もコロナ禍によって、このような社会を目指す教育に暗雲が垂れ込めていた。「新しい生活様式」によって、グループ学習や意見発表、プレゼンによる課題の共有等、協働学習が大きく阻害された。また、校外活動と交流は、ことごとく中止ないし縮小という事態は今年度も続いている。こういった不自由な状況の中で、台湾台北市の健成国民中学校との友好親善の書道展やオーストラリア姉妹校サザンクロス校とのオンラインによる授業交流、コロナ禍で中止とはなったが、米軍岩国基地内の中学校との学校交流の企画等、次につながる前向きな取り組みも行えた。

3. ICT活用による授業の高度化

昨年度、国の補助事業によって校内 LANとICT機器が充実し、今年度、生徒の一人一台タブレットの活用が飛躍的に高まった。コロナ禍以前から本校はICT教育に投資し、この分野で他校より先行してきた。しかし今や公立校も同じ土俵に乗り、これからはいかに有効な活用ができるかという点で、真価が問われる。今年度は教員のスキルアップへの取り組みにおいて、高校の部で報告したとおり、大きな成果を得たと考えている。

今年度の具体的な取り組みについては、次の事業内容に記す。

II 事業内容

1. (学力・進路面、生活・情操面)に対して以下の取り組みを行った。昨年度に引き続き、コロナ防止基本対策を講じながら実施した。

(1) 学力・進路面

①全体の教員研修 年5回(1学期2回、2学期3回)

・高校と同じ

- ②教科会議 原則、毎週1回、英・数・国・社・理・保健・芸術・家庭科で実施
- ③教員相互授業参観 2回(1・2学期)実施
- ④オンライン研修会への参加
 - ・コロナ禍、参加型の研修会は次々と中止となる中、その代替えとしてオンライン研修会が開催されたので、できるだけ教員参加を促した。
- ⑤外部模試による客観的な学力把握
 - ・学力推移調査:各学年春夏2回、全員受験。模試検討会は教科会で代替え。

(2)生活・情操面 特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動、郊外活動を通じた取り組みを実施

①運動会 9月4日(日)

②楽学祭 9月22日

※保護者参観なしで実施

③中六合同発表会 2月18日開催。

中高ともに学年の枠を超えた異学年で構成されるグループをつくり、各班が独自にテーマを決め、探究学習を行い、その成果を発表会でプレゼンし、皆で共有した。

④その他の学校行事

○英語暗唱大会 9月7日、○30キロ遠足 11月2日、○百人一首カルタ大会 3月22日

○中六講演会 11月30日 大畠 貴弘 氏

予定日前後のコロナ感染状況を勘案しながら、すべて実施。伝統行事は絶やさず、先輩から後輩へ受け継がせた。

⑤学年行事を楽しむ

・1年:高水訪問、スプリングセミナー4月19・20日実施。

・2年:史跡めぐり5月27日、サマーセミナー中止、14歳新たな誓い 3月10日実施。

・3年:オータムセミナー11月10日、広島平和公園を巡る平和学習を企画実施。

⑥ユネスコスクール高水の推進

・地域貢献としてのボランティア活動:11月19日、愛宕地区社福の皆さんと共同で清掃活動を実施。

・岩国ユネスコ協会との連携:コロナ禍で実働なし。

・海外姉妹校との交流プログラム(ホームステイ):実施できず

・台湾台北市健成国民中学校と友好親善交流の書道展:3月25~28日

2. 広報活動(入学定員確保)

①「楽学フェスタ2022」(オープンスクール)について

プログラム i 生徒会による学校紹介 ii 模擬授業体験 iii 質問コーナー

○第1回 6月12日(日)実施

42組 105名 内参加児童 42名(6年生 21名、5年生 13名)

○第2回 7月9日(土)

20組 50名 内参加児童 20名(6年生 5名、5年生 8名)

○第3回 8月21日(日)

29組 73名 内参加児童 29名(6年生 13名、5年生 5名)

②小学校訪問

・周南市～岩国市周辺の小学校を訪問、校長に挨拶

・5月中旬 「楽学フェスタ」の紹介と出身生徒の現状報告

- ③学習塾訪問 9月
- ④入試説明会
 - ・第1回開催 10月2日(日)
 - ・第2回開催 11月5日(土)

III. 主な施設・設備整備事業の概要

【法人】

- 学園全体で、修繕を行った。

【短期大学】

- 施設整備の補修や修繕計画を立案し、実施できるところから行った。
- 岩国短期大学講義室のカーテン等を修繕整備した。
- 情報処理の教育研究装置を整備もしくは入れ替えをしたことで情報環境の充実を図った。

【高等学校・付属中学校】

- 施設整備の補修や修繕計画を立案し、実施に向けて計画書を作成した。

IV. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

特定資産（退職給与引当特定資産）は、現況を維持するに、約2100万円の減とした。

② 収支計算書の状況

入学生が見込み値を下回ったため、収入の増加が得られなかった。

(2) 経年比較 (単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	4,248,559	4,130,271	4,014,189	3,901,714	3,786,676
流動資産	449,508	545,777	469,581	452,119	377,689
資産の部合計	4,698,067	4,676,048	4,483,770	4,353,833	4,164,265
固定負債	181,081	174,124	167,864	160,963	139,664
流動負債	86,796	168,241	99,486	121,813	58,150
負債の部合計	267,877	342,365	267,350	282,776	197,234
基本金	4,635,437	4,628,942	4,634,093	4,580,058	4,581,417
繰越収支差額	△ 205,247	△ 295,259	△ 417,672	△ 509,001	△ 614,287
純資産の部合計	4,430,190	4,333,683	4,216,421	4,071,057	3,967,130
負債及び純資産の部合計	4,698,067	4,676,048	4,483,771	4,353,833	4,164,364

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

収入の部	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金収入	427,488	380,606	395,442	363,906	363,025
手数料収入	21,089	21,532	19,191	20,022	19,023
寄付金収入	17,653	14,668	5,026	5,884	5,205
補助金収入	319,412	279,706	304,276	262,033	249,770
資産売却収入	0	300	0	0	0
付随事業・収益事業収入	23,050	19,597	17,789	15,693	23,962
受取利息・配当金収入	2,306	2,614	2,359	3,714	1,025
雑収入	37,336	110,057	49,187	68,317	21,495
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	42,223	45,895	37,663	39,719	30,547
その他の収入	109,284	116,540	164,543	118,439	99,738
資金収入調整勘定	△ 87,957	△ 166,467	△ 149,626	△ 119,509	△ 68,517
前年度繰越支払資金	367,662	410,441	416,929	362,268	364,664
収入の部合計	1,279,546	1,235,489	1,262,779	1,140,486	1,109,337

支出の部	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	636,051	715,584	631,110	634,041	564,228
教育研究経費支出	132,484	106,695	142,805	126,688	124,270
管理経費支出	46,656	28,700	28,938	27,215	25,334
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	9,558	1,752	4,235	0	803
設備関係支出	5,294	5,667	7,702	8,313	915
資産運用支出	500	33,334	26,221	400	300
その他の支出	76,188	41,638	115,309	54,786	75,418
資金支出調整勘定	△ 37,627	△ 114,808	△ 55,809	△ 75,621	△ 21,950
翌年度繰越支払資金	410,442	416,929	362,269	364,664	340,018
支出の部合計	1,279,546	1,235,491	1,262,780	1,140,486	1,109,336

イ) 活動区分資金収支計算書

科目	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	841,036	823,507	756,591	732,832	681,580
教育活動資金支出計	815,191	850,979	802,853	787,945	713,832
差引	25,845	△ 27,472	△ 46,262	△ 55,113	△ 32,252
調整勘定等	8,975	△ 4,325	△ 14,420	19,493	△ 14,083
教育活動資金収支差額	34,820	△ 31,797	△ 60,682	△ 35,620	△ 46,335
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	19,991	29,960	52,321	13,023	300
施設整備等活動資金支出計	14,851	7,419	11,937	8,314	1,718
差引	5,139	22,541	40,384	4,709	△ 1,418
調整勘定等	744	△ 4,604	△ 32,298	22,233	1,023
施設整備等活動資金収支差額	5,883	17,937	8,086	26,942	△ 395
小計 (教育活動資金収支差額・設備整備等活動資金収支差額)	40,703	△ 13,860	△ 52,596	△ 8,678	△ 46,730
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	3,322	53,832	24,657	11,472	23,203
その他の活動資金支出計	1,246	33,485	26,722	400	1,119
差引	2,076	20,347	△ 2,065	11,072	22,084
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	2,076	20,347	△ 2,065	11,072	22,084
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	42,779	6,487	△ 54,661	2,394	△ 24,646
前年度繰越支払資金	367,662	410,441	416,929	362,269	364,664
翌年度繰越支払資金	410,441	416,929	362,269	364,664	340,018

ウ) 事業活動収支計算書

科目		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業活動収入の部						
教育活動 収支	学生生徒等納付金	427,488	380,606	395,442	363,906	363,024
	手数料	21,088	21,532	19,191	20,022	19,023
	寄付金	16,021	12,710	4,767	5,444	4,965
	経常費等補助金	316,208	279,206	270,455	259,510	249,170
	付随事業収入	23,050	19,597	17,789	15,693	23,962
	雑収入	38,310	110,057	49,187	70,717	36,375
	教育活動収入計	842,165	823,708	756,831	735,292	696,519
事業活動支出の部						
教育活動 外収支	人件費	636,472	708,626	624,850	629,541	557,229
	教育研究経費	211,411	183,989	219,126	203,412	193,781
	管理経費	50,127	32,170	32,525	30,624	28,743
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	898,010	924,785	876,501	863,577	779,753
	教育活動収支差額	△ 55,845	△ 101,077	△ 119,670	△ 128,285	△ 83,...
	事業活動収入の部					
教育活動 外収支	受取利息・配当金	2,306	2,614	2,358	3,714	1,025
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	2,306	2,614	2,358	3,714	1,025
事業活動支出の部						
特別収支	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	2,306	2,614	2,358	3,714	1,025
経常収支差額						
事業活動収入の部						
特別収支	資産売却差額	0	173	0	0	0
	その他の特別収入	5,525	2,825	34,559	3,023	300
	特別収入計	5,525	2,998	34,559	3,023	300
事業活動支出の部						
特別収支	資産処分差額	13,126	1,042	34,511	23,815	22,018
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	13,126	1,042	34,511	23,815	22,018
	特別収支差額	△ 7,601	1,956	48	△ 20,792	△ 21,718
基本金組入前当年度収支差額						
基本金組入額合計						
当年度収支差額						
前年度繰越収支差額						
基本金取崩額						
翌年度繰越収支差額						
事業活動収入計						
事業活動支出計						

(4) その他

① 有価証券の状況

西中国信用金庫の発行券を、35,000円分保持する。

② 借入金の状況

なし

③ 学校債の状況

なし

④ 寄付金の状況

教育振興寄付金募集により、個人から 3,186,000円、企業主から 1,010,000円が得られた。

⑤ 補助金の状況

本年度より、ICT教育推進の内、公衆送信保証金に係る補助金を申請した。

⑥ 収益事業の状況

なし

⑦ 関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

あり (100万円未満の賃料のため、取引の重要性を判断する際の取引基準に該当しない。)

イ) 出資会社

なし

⑧ 学校法人間取引

なし